

映画券にベルマーク

ブタがいた教室

全国共通特別鑑賞券
一般 ¥1,300 (税込)

ブタがいた教室



ベルマークのついた
映画鑑賞券(見本)

映画を見て、学校を豊かに。教育助成のベルマークが初めて映画のチケットにつく。第1号は日活配給の「ブタがいた教室」(11月1日公開、前田哲監督)。小学校を舞台に、教育のありかたを考えた作品だ。日活は、今後もふさわしい映画を選んでつけていきたいという。

昨年度のベルマークによる教育設備購入額は約5億円。約1割が地方の学校や災害被災校、養護学校、海外の子供たちに向けて使われる。マークを提出する人が10人に1人

命の尊さ考え 学校豊かに

とすると、日活が目標とする入場者30万人なら、36万円が贈られることになる。

「ブタがいた教室」は、小学6年のクラスが、食べるために子豚を飼い、命の意味を学ぶ物語。子豚を食べるべきかどうか、先生(妻夫木聡)を中心に、児童が涙を流しながら激論を交わす。実話に基づいている。

ベルマーク教育助成財団の末吉正憲事務局長は「今後は、子供向けに限らず、大人の優れた映画にもつきたい」と話す。他社の配給映画にも広げていきたい考えだ。ベルマーク付き前売り券は23日から発売される。(宮崎陽介)